

仲井照雄 2021年11月20日

日本分水嶺 高島トレイル赤坂山(823m)登山

登山日：2021年11月14日(日)

参加者： 正会員－松下征文(L)・村上 正(SL)・土井文雄(SL)・真名子栄一(会計)、野村綾子 計5名 友の会会員－宅間 仁・上野陽子・牧野博史・梅影順子・仲井照雄 計5名 合計10名

午前9時00分、マキノ高原温泉さらさ前(標高187m)に集合する。朝から青空が見え、無風の登山日和である。松下(L)は、参加者数を確認後、1/25,000の地形図・気象図・登山計画書を全員に配り、当初予定コースの変更する旨(変更後：登山口→粟柄峠→赤坂山往復→粟柄峠→登山口)連絡があった。本日の登山の目的は、気象図の理解と登山中の現在位置を確認し読図力を付けること。また、次の注意点があった。①冬季の二つ玉低気圧配置の日は登山厳禁 ②等高線で急登箇所や谷筋・尾根筋を見極めること、そして正確な現在位置を掴むこと ③登山1週間前から天気予報を確認すること

午前9時20分 マキノ高原温泉さらさを出発する。この辺りは夏はオートキャンプ場になっている。家族連れがあちこちでテントを張って寛いでいる。終日緑に囲まれて過ごすには、素晴らしい場所だ。

午前9時30分 寒風(853m)から粟柄越(770m)に続く平坦な稜線を正面に見ながら、10分程で登山口(約200m)に到着する。オートキャンプ場は広いので、地図を見ても直ぐ登山口が見つからない。歩いているうちに「赤坂山へ約4km」の標識が見つかった。トップは真名子正会員、次は友の会会員、ラストは土井(SL)の順でスタートする。上級レベル(正会員)から初級レベル(友の会会員)の混成パーティである。初級レベルのペースで歩く。ここから整備された階段の登山道に行く。地図を見ると等高線の間隔が狭い。いきなりきつい登りである。呼吸を整えながらゆっくり登る。しばらくすると、調子ヶ滝から流れる溪流が左に見えてきた。やがて階段が終わると、何回か左に右にカーブする。こういう箇所は、方角が分からなくなるので、地形図やGPSで現在位置を確認すべきだ。

登山道は西方向から北方向に変わる。ゆっくりしたペースで50分程歩くと、急な登りは終わり、標高400m辺りのなだらかな稜線地帯に着く。来た登山道を振り返ると、マキノ高原温泉さらさの建物や、オートキャンプ場に50張り位のテントが点在しているのが見え、その東の彼方に琵琶湖が広がっている。やや霞んでいるが、晴天で気持ちがいい。標識にはこの登山道は、「赤坂山歩道」と書いてあり、障害となる石も少なく、よく整備されている。周りは細い広葉樹が繁茂しており、期待していた鮮や

かな紅葉はあまり見られない。東を見れば、敦賀から来ている送電線が、これから登る粟柄越に向かって伸びている。周りにブナの樹木が目立つようになってきた。数は少ないが、赤く紅葉したもみじの木も見られる。栗の実が落ちている。

松下(L)によると、高島トレイルのこの稜線は中央分水嶺と呼ばれ、日本海側と太平洋側に雨水が流れる分岐点という。

午前 11 時 35 分 武奈の木平 (約 480m) に到着、屋根付きの休憩舎がある。地名の通り平らな広場だ。暑くも寒くもない、しかも無風で登山日和だ。ここで昼食をとる。マキノ町の民家、畑、メタセコイヤ並木や鉄塔が遠くに見える。

午後 0 時 10 分、約 40 分の休憩後、粟柄越に向けて出発する。しばらくすると、関西電力の送電線の真下に来た。松下(L)の指示で 1/25,000 の地形図で現在位置を確認する。こうした特徴のある場所が、現在位置を知る手掛かりになるという。

緩やかな斜面は終わり、北西方向に向かって粟柄越の登山道を進む。途中、石畳を歩く。若狭からの鯖街道だという。

午後 1 時 40 分 急な登山道をひたすら登る。道幅が狭くなり、石がゴロゴロある。ブナや松の樹木はなくなり、地面から斜めに枝分かれした細い木々に代わってきた。日本海側からの強い季節風のため、風下の琵琶湖を向いている。前方の視界が広がってきた。粟柄越 (770m) に到着。松下(L)より、目の前に見える送電線の鉄塔を 1/25,000 の地形図で確認するように指示があった。鉄塔で送電線が、「く」の字に曲がっているのがヒントになるという。

午後 1 時 50 分、登山道は草原道に変わり、直ぐ目の前に見えるなだらか形をした赤坂山 (823m) に到着、ここから粟柄越を見下ろすと、広い草原状になっているのがよく分かる。村上(SL)によると、以前、視界が悪化し遭難が発生したという。天気予報を事前に把握し、無理のない計画を心掛けるべきだと思う。

明王ノ禿、三国山、遠く伊吹山が見える。送電線はずっと福井県敦賀に続いている。寒くもなく無風である。

午後 2 時 20 分 赤坂山を下山する。登ってきた同じルールを下る。

午後 3 時 35 分 武奈の木平 (約 480m) に到着

午後 4 時 35 分 登山口 (約 200m) に到着

今回は天気にも恵まれた登山となった。「健幸登山教室 8」の読図練習は、現在地を確認するのに役だった。